

# naniewa

iryo da-jyo

61

## 奨学金制度のご案内

大阪民主医療機関連合会(略称:大阪民医連)では、将来地域に根ざした民医連の医療を担う意志を持った学生が、学生時代により幅広い視野を育て、人間性豊かな医師として成長できるように、経済的にも援助を行うための、奨学金制度を設けています。

——詳細はお問い合わせください。

## 奨学金貸与額(医学生)

|       |         |
|-------|---------|
| 1年・2年 | 50,000円 |
| 3年・4年 | 60,000円 |
| 5年・6年 | 70,000円 |

## 奨学生の取り組み

## 医療現場を体験しよう!!

臨床の現場を体験していくために、低学年から高学年まで幅広く病院実習を受け入れています。実際の医療現場での体験を通して、医師や他職種、患者さまと関わり合う中で、「将来どんな医師になるのか?」「どんな医療をしていくのか?」など、一緒に考えてみませんか?

## 医療情報・医療制度について学ぼう!!

毎月行われる医学生ミーティングや学習企画に参加して、その時々の医療問題や興味関心事を一緒に学びます。患者さんの置かれている状況やそれに関わる医療制度などなど、「なぜだろう?」「どうすればいいだろう?」という思いを出し合い楽しく学習します!!

## 全国の学生・先輩スタッフと学ぼう!!

全国から数百名の仲間が集まる企画「医学生のつどい」を運営、又は参加したりする中、「どんな医師をめざす?」「患者さんの気持ちちは?」など様々なことについて各地の奨学生の仲間や先輩スタッフと話し合います。またいろんなアドバイスを受けたり、他大学の学生との交流でいろんな思いを深めることができます!

## 大阪民主医療機関連合会

〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町2丁目1-8 創建本町ビル2階  
TEL : 06-6268-3970 FAX : 06-6268-3977  
URL : <http://www.oskmin-igakusei.com> E-mail : staff@oskmin.com

## 編集後記 おだじーのつぶやき

●初めまして! なにわの医療道場・編集の「おだじー」とこと小田嶋です。なにわの医療道場が久々に復刊!! 今回からフルカラーになって豪華になりました。(笑) 新なにわの医療道場共々、これからもよろしくお願ひします☆ ●今回の記事は今年の4月に大阪民医連に就職された1年目の先生たちにたくさんご協力頂きました。お忙しい中、心のこもった記事をありがとうございました! ●お便りをお寄せください! 特集など記事を読んでの感想、本誌に対して感じていること、日頃思うこと、なんでも気軽にお便りください。お便りは、同封のアンケートはがきにご記入のうえ郵送してください。掲載分には図書カードを進呈いたします。(ペシネームや匿名希望の方はその旨を明記してくださいね!) おだじー



大阪民医連での初期研修

## 「先輩からのメッセージ」

④

## 医療なにわの道場

あつまれ医学生!  
「医学生が本気出して  
考えたらどうなる!?'

⑫

Dr. 大矢 interview 指導医からのメッセージ  
「研修医に必要なものとは  
なにか?」②

わかりやすい  
スケジュール  
実習案内  
「低学年~高学年  
プログラム」⑥

大阪民医連・初期研修1年目Dr  
「医学生活動を語る!」

⑩

Renewal  
Summer  
issue

真摯な姿勢で患者さんに向かう  
研修医の姿に、  
初心に戻らなアカンな  
つて思います。

医療現場で働くとは？ 医学生のうちにやっておくことは？ 研修医になったら？

耳原総合病院で研修指導医として9年目を迎える大矢先生に、ロングインタビューしました。

笑顔で答えるそのパワーの源とは！？

### 研修指導に関わることになったきっかけは？

**大矢**:私が研修3年目の時に外の病院に勉強に行かせて頂いたんですね。そこがすごく研修とか教育に力をいれていて、教えるって面白いなと思ったのと、耳原総合病院も研修医を受け入れ続けるためには指導に携わる人が必要だというのもあり、そのあたりが丁度マッチして帰ってきて。ちょっとだけICUで勉強した後は、そのまま研修病棟で勤務しています。

### 研修医と接するうえで気をついていることは？

**大矢**:立場で言うと研修医と指導医となるんですけど、それよりもチームで一緒によりよい医療を提供することを意識しています。そのなかで研修医には学べるもの学んでほしいと思っています。みんなで良い医療を提供する意識は2年間でだいたい一致してくる。仲間が出来て、それが頑張ってそういう医療を少しでも広げていく。そういうのが少しづつでも広がっていくのはすごいやりがいあるというか、良いなって思いました。

### 先生の研修医時代はどんな感じでした？

**大矢**:結構自由にやらせてもらいました。私はあまり要領が良くないのでトントンとできなくて、一つ一つ悩み

ながら前に進んでいった2年間でした。それを指導医の先生たちがある程度任せててくれて、でもしんどい時はサポートしてくれるというように、いい距離感で過ごさせてもらったなと思っています。自分もそういう風にできればいいなと思いますけど、なかなか難しいですね。

### 学生時代は？

**大矢**:ひたすらラグビーをやっていました。良いメンバーに恵まれてその人たちと一緒に大学時代を過ごせたっていうのが大きかったです。達成感も得られました。学生時代に何かにおもいっきり打ち込むっていうのは、なんでもいいと思ってるんですけど、スポーツでもボランティアでもなんでも。将来働く時に何か繋がる、意味があると思いますね。

### 研修医から逆に学ぶことがあると？

**大矢**:それはいっぱいあります。大学は最先端の事をやっているので聞くと自分に合ったものを探すことが大事かなーと言う気がします。自分はどんな時が楽しいか、やりがいを持てるのかななど、そういうのを知っておくのは働く上でも大事だし、自分を知るじゃないですか、分かればいいのかなって思いますね。

### 研修医に必要なものとは？

**大矢**:医師免許取って医師になってしまったら、やりがいも大変さも含めて人の人生に関わる仕事に就いたという、そういう覚悟はこの2年間で身につけてほしいと個人的には思っています。

初期・後期研修が終わって自分の道に進みだすと、そもそも医者を目指した時の最初の気持ちを忘れてしまいそうになるんですね。いつでもちゃんと初心に戻れるように初期の2年間の覚悟を忘れず頑張って欲しいなって思っています。

僕なんかは逆に研修医とずっと一緒にいるので、そういうのを毎年思い出させてくれるというか。研修医たちがすごく真摯な姿勢で患者さんと向き合う姿を見ているとその度に自分もそうだったなって思ひだして、またそうせなアカンなって思わせてくれるというか。それはすごくいいなって思います。

### 医師という仕事は楽しいですか？

**大矢**:楽しいですよ！僕は人と接するのが好きなので、人を診たりするのが樂しいです。

それから医学の現場ってすごく人間が生で出る場なので。例えば極限の時に逆に人間の良さとか優しさとかがすごく見えることがあります。まあ、面白いっ

て言うよりもやりがいになるかもしれないけど、そういう時に人間っていいなって、面白いなと思いますね。あと、ある意味恵まれているなと思うんですよね。自分で頑張れば頑張られるだけ、やればやるだけの事が感謝されるし喜ばれるし、勉強をしたら勉強をしたことは絶対現場で活きるんですよ。それはやりがいもあるし楽しいと思いますね。

### 民医連の医師になって良かったですか？

**大矢**:良かったと思いますね。例えどんな設備があったとしてもそれを使う集団、人間が良い仲間でなければ良い医療は提供できないと思うんですよね。民医連はみんなで良い医療を提供しようという事がハッキリ綱領に書いてあるので、そこに向かってみんなで頑張る組織にいることは医師として働く上でいいなと思っています。

### 最後に一言お願いします

**大矢**:そうですね。楽しくとか面白くとか、やっぱり大事だなと思います。面白くないことってなかなか続かないと思うんです。でも、やりがいとかって必ず

しも求めて得られるというものでもなくて、偶然の出会いとかまたま読んだ本とか、たまたま担当した患者さんをきっかけにとかあるんですよね。それがいつも来るか分からないから、常にアンテナだけは張っておいてですね、どんな医師になるのか、どうやったらなれるのかをいつも持っておいて、いい出会いとかチャンスを逃さずにいてほしいです。僕もまだこれからそういう大きな出会いがあるかもしれないですし。学生さんとか研修医の先生にもそういうことを意識して生活を送ってほしいなって思います。

### ありがとうございました

耳原総合病院  
研修指導医

**大矢 亮**



大阪民医連での2年間を振り返って

# 先輩からのメッセージ!!

平和会 吉田病院 | 医師

大野草太

自分なりの  
「丸テーブル」を  
探してほしいですね。



この文章からは具体的な研修内容は見えてこないと思います。敢えてそのへんを考えず、思いつくままに書いてみたら、メンタルの話ばかりになってしまいました。結局、僕自身の初期研修はメンタルが全てだったんだろうと思います。大丈夫かな(笑)。

## ▶人に恵まれた初期研修

初期研修の2年間は、人に恵まれすぎました。同期はもちろん、指導医、上級医、(特に同期入職の)事務や看護師ら。とにかく極端にお人好し(笑)でした。その分、迷惑もしこたまかけました。研修内容のほとんどは人で決まる、という勝手な持論を当てはめてよいのであれば、この病院を選んで本当に正解でした。僕が研修を開始した耳原は、汚く設備の古い病院でしたが、綺麗で全てのトイレにウォシュレットが完備されている大病院よりも遥かに、人の体温を感じながら過ごせた2年間だったと思います。やっぱりトイレは冷たいけど。医局は地下で、色で言うと灰色ですが、丸テーブルで「わっ」と盛り上がっている時は(大体午後で、女医さんが2人以上いればそうですが)暖色系になります。

同期の医師は春先は5人でした。私大出身の僕の内心は「うわー、国立ばっかりや」という、今思えば世間知らず全開な感覚でした。最初に1ヶ月間のオリエンテーションがありました。僕たちはこの期間、早い時間から、近所の鳥料理の居酒屋でしこたま呑みました。もしくは、決めないかん事があると言ってガストに行き、クダを巻き続けたりしました。各々がだいたいどういうヤツか、どういったトコロは盛り上がって、どういった所は合わないか、だんだんわかってきて、頭の中で思ったことの90%は吐き出せる、そういう関係はできてたんじゃないかな、という自負はあります。だから、個人的には、あの1ヶ月間はめちゃくちゃ重要でした。

## ▶距離の近い医師たち

上級医。とにかく距離が近かった。目線が同じで、コンサルトしやすい先生が多かった。システムチックにされすぎて、なんだか困惑することもあったけど、結局、わからないことを躊躇無く聞けるという関係ができるいるかが、全てではないのかな、という気がします。そういう関係作りに意欲的な先生はたくさんおられました。本当に尊敬します。コンサルトの垣根の低さなら、きっと全国上位クラスに違いないと思います。それは医局が狭いから、人ととの距離が近いという事も関係あるのだろうけど。

僕自身は\*研修医会議で前半だけ議長をやりましたが、人をまとめたり、動かしたりするのは凄く苦手(お酒が入ると別ですが)なので、めちゃくちゃ焦りました。今思い返しても地に足がつかず、ただ見かけ上は回って

いる、というだけのものだったように思います。ここでも同期にたくさん助けられました。いい経験になったかは今はまだわかりませんが、「同期を巻き込んで自分の負荷を減らす」という、悪い方法がみつかってよかったとは思います(笑)。

## ▶今のは基礎を作った研修生活

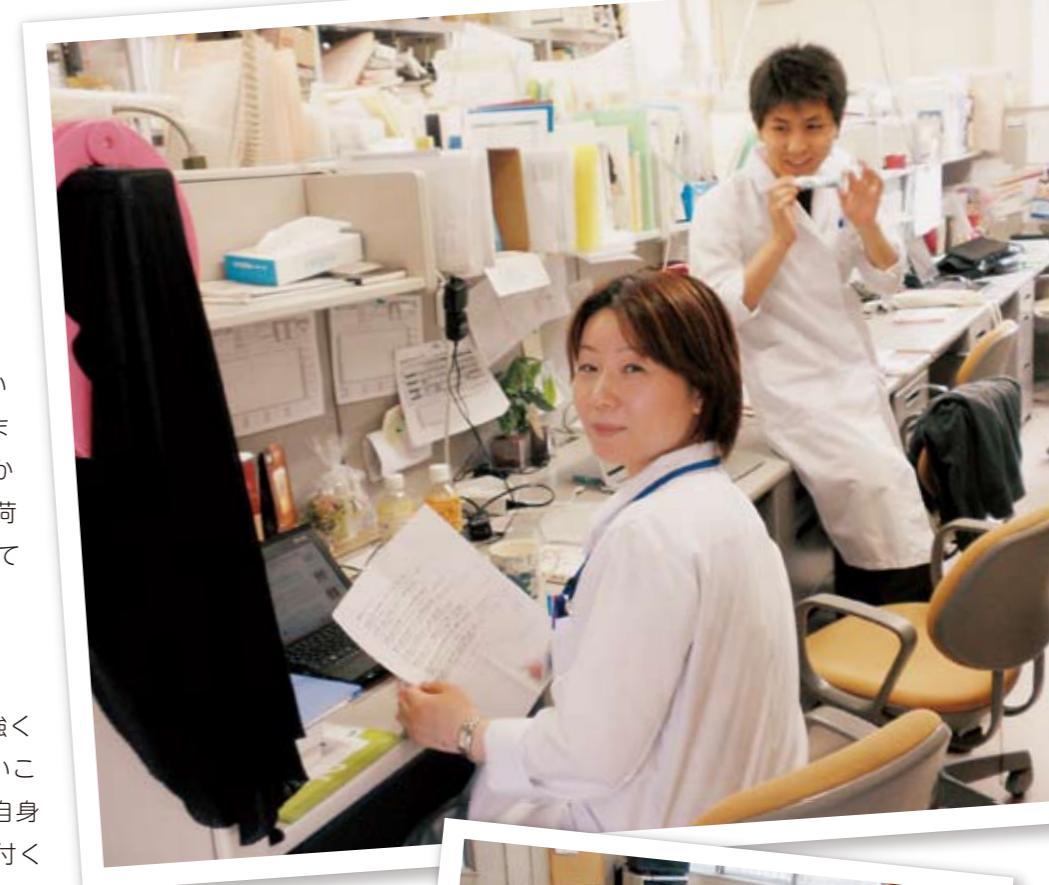
結局、今こうして2年間を振り返って強く思うのは、医学の事がほとんどでてこないことです(笑)。それは悲しい事ですが、僕自身が研修内容よりも研修生活と、初めて気付く自分自身ばかりに気をとられていて、医学的な成長だのに集中する余裕がなかったのだと思います。だからそういう余裕のある同期の面々はうらやましかったし、内心そこから逃避したいと思う時もありました。

失敗は星の数程したし、もちろん他人との関係が歪んで悩んだりという事はしきりありました。その度に呑んで同期に報告したり、呑んでもなお言えなかったりという事もたくさんありました。今残念なのは、その悩み一つ一つを記録しておかなかった事です。30年後にみんなでみて楽しめるという意義もありますが、悩みと自分を客観視して、今日の憂いを小さなものにする目的だけでなく、明日の後輩の痛みを和らげる最良の資料となり得たのに。

## ▶心のよりどころ「丸テーブル」

「耳原の医局の丸テーブルのうち、医師たちの動線上にある方のヤツ」ほど、機能性が高く、ストレスフルな研修医にとって重要な場所はないと思います。ピーピー騒ぐ鳥の巣になるだけの時もありましたが、あの丸テーブルは色々なものを吐き出し、薄めあって、昇華して明日につなげる場所として、とても重要でした(大袈裟ですが)。新病院になって、あの機能を担うものがちゃんとあるのか、一つ心配です。僕ら2010年卒業生と上下数年の先輩・後輩・同期の事務らだけの「丸テーブル」が鳥の巣でした。どの時代の初期研修医も、どこかにどっしりとした丸テーブルを探して欲しいと思います。

\*研修医会議…初期研修医自身が研修をより良くするための会議。



Profile

2010年川崎医科大学卒業。耳原総合病院にて初期研修。  
現在奈良民医連吉田病院にて後期研修中。



## 高学年向け実習案内

実際の検査データや画像所見をもとにさらに鑑別診断を進めて下さい。午前中に足りなかった問診や診察については繰り返しベッドサイドに足を運んで下さい。最後は担当研修医と一緒にベッドサイドに行き大切な問診内容や診察所見の確認を行います。集めた情報をもとに模擬カルテに記載しながら翌日の新患カンファレンスの準備を行って下さい。



| 16:30 ↓ 実習のまとめ  | 14:00 ← 往診  | 13:30 ↓ 昼食   | 12:30 ↓ ケースワーカーのお話し  | 11:00 ↓ 他職種実習  | 9:00 ↓ 病院紹介                                   | 8:45 ← 医局朝礼                                   | ある日のいちにち<br>○/○ | 中・低学年向け実習スケジュール            |
|---|---|--|--|--|---|---|-----------------|----------------------------|
| 今日一日を振り返った感想を聞かせて下さい。実習中に質問出来なかったこと、わからなかったことなどがあれば質問して下さい。 | 慢性疾患などにより医療を必要としているが、通院することが難しい患者様のお宅に、医師が往診（訪問診察）を行っています。在宅医療について考えて下さい。 | 「生活と健康を守る」視点で健康・福祉相談を行っています。社会福祉制度に精通したケースワーカーの話から現在の医療制度について考えて下さい。 | 医師以外の病院を支えている看護師や介護士、技師や薬剤師の仕事を通じて、各々の職種の役割や医師との関わりを体験して下さい。 | 地域の病院・診療所からの紹介された患者さまひとりに最適な医療院の成り立ちや現在の医療活動などを聞いて下さい。 | 全科の医師が集まって朝礼を行います。自己紹介と実習参加の期待など簡単な挨拶をお願いします。 | 全科の医師が集まって朝礼を行います。自己紹介と実習参加の期待など簡単な挨拶をお願いします。 | ある日のいちにち<br>△/△ | 高学年向け実習スケジュール<br>～主治医体験実習～ |



# 大阪民医連 実習案内 病院のご紹介

各院のホームページにも実習案内が載っていますので、ぜひご参照ください。百聞は一見にしかず、大阪民医連の医療を見て聞いて触れて感じてください！



〒590-8505 堺市堺区協和町4丁465(南海高野線堺東駅よりバス)  
TEL.072-241-0501(代)  
URL. <http://www.mimihara.or.jp/sogo/> E-mail. igakusei@mimihara.or.jp  
● ブログ更新中! <http://blogs.yahoo.co.jp/kensyuuroom/>

218床

## 西淀病院

「地域医療を実感!!」

### 標榜科目

内科(呼吸器、循環器、消化器、神経、糖尿病)、  
外科、整形外科、小児科、婦人科、泌尿器科、  
リハビリテーション科、放射線科、  
血液浄化室(人工透析)

一般110床・亞急性期54床  
リハビリテーション54床

特色は家庭医療学を踏まえた  
臨床倫理の検討と  
追及の深さにあります。  
同時に地域総合内科でEBM\*も  
しっかり学んでいただきます。  
\*evidence-based medicine

花房 徹郎 医師  
Dr. Tetsuro Hanafusa  
出身／徳島大学 2007年卒  
診療科／地域総合内科、家庭医療科  
趣味／キャンプ



〒555-0024 大阪市西淀川区野里3-5-22 (JR東西線御幣島駅徒歩5分)  
TEL.06-6472-1141(代)  
URL. <http://www.yodokyo.or.jp/nishiyodo/index.html> E-mail. igakusei@yodokyo.or.jp  
● ブログ更新中! <http://nishiyodo.blog54.fc2.com/>

大阪民医連では、学校では体験できない「生の医療現場」での実習プログラムをたくさん用意しています。卒後研修に向けて動き出そうとしている高学年の方はもちろん、1年生から実習を受け入れています。すべては体験することから始まります。早い時期から臨床現場を体験することをお勧めします。将来の医師像を探しに大阪民医連の病院・診療所で実習してみませんか？

## 病院見学 の ポイント

- どのような医療の分野を担っているか
- 研修医を指導できる体制になっているか
- 研修医がしんどい中でも楽しく研修できているか
- チーム医療ができるか
- 研修医の保障(休暇など)
- 指導医の熱意、レクチャー、カンファレンス
- 学会への参加、研究(臨床研究も含む)



386床

## 耳原総合病院

「様々な視点で実習を!!」

### 標榜科目

内科、循環器内科、消化器科、呼吸器科、小児科、  
外科、胸部心臓血管外科、整形外科、  
耳鼻咽喉科、眼科、産婦人科、皮膚科、精神科、  
泌尿器科、神経内科、脳神経外科、麻酔科、  
放射線科、肛門外科、リハビリテーション科

一般386床

総合診療科、ERを軸とする  
急性期病院です。  
急性期医療を支える、循環器科、  
外科系、小児科、産婦人科なども  
がんばっています。

外山 和隆 医師  
Dr. Kazutaka Toyama  
出身／京都府立医科大学 2004年卒  
診療科／消化器科  
趣味／マージャン



〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見3-6-22(地下鉄長堀鶴見緑地線今福鶴見駅徒歩4分)  
TEL.06-6914-1100(代)  
URL. <http://www.osh.coop/> E-mail. igakusei@health-coop.jp

166床

## コープおおさか病院

「チーム医療を体験!!」

### 標榜科目

診療科目：内科、循環器科、消化器科、  
心療内科、外科、肛門科、整形外科、泌尿器科、  
皮膚科、小児科、眼科、リハビリ科、放射線科、  
歯科、小児歯科、矯正歯科

一般108床・亞急性期8床  
リハビリテーション50床

コープおおさか病院は  
大阪市鶴見区にあります。  
私達は、マンションが増え人口が増え  
活気あふれるまちで  
医療をしています。

青木 淳 医師  
Dr. Jun Aoki  
出身／高知大学 2001年卒  
診療科／内科・消化器内科  
趣味／読書、特技は水泳・テニス・ドラム



99床

## 東大阪生協病院

「病院から在宅へお手伝い!!」

### 標榜科目

診療科目：内科、循環器科、消化器科、呼吸器科、  
外科、整形外科、肛門科、小児科、眼科、  
リハビリテーション科、神経内科、皮膚科、  
泌尿器科、放射線科

一般52床・リハビリテーション47床

半日人間ドックやリハビリ専門医療、  
在宅医療、家庭医療と  
保健予防から在宅まで  
地域と生活の場に根ざした  
医療活動を行っています。

橘田 亜由美 医師  
Dr. Ayumi Kitsuda  
出身／秋田大学 1992年卒  
診療科／神経内科、家庭医療科、  
リハビリテーション科  
趣味／ジャズボーカル



〒577-0832 東大阪市長瀬町1-7-7(近鉄大阪線長瀬駅徒歩3分)  
TEL.06-6727-3131(代)  
URL. <http://www.isekiyoukawachino.jp/higasiosaka/>  
E-mail. igakutai@rainbow.or.jp

印象に残っている回について、  
被ばくの被害(2011年10月)  
陸前高田市・大船渡市FW(2012年3月)

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、津波の影響で多くの被災者が生まれました。また、福島の原発がメルトダウンに陥ったために日本で再び核の被害者が生まれてしまいました。震災から1年以上経った今でも、生活が元に戻らない被災者の方々がいます。そしてこれからどんな放射能による健康被害が出てくるのかは明らかではありません。震災が起きたとき、私はまだ医学部5年生だったのですが、あと1年ほどで医師となり、震災の爪跡が残る中で生きる患者さんに寄り添って医療を行うのだと決心しました。

ひといのちと健康を守ることが私たち医師(医学生)の社会的使命です。原発によって、あるいは被災者や弱者を見捨てるような社会によって、苦しめられる人が再び生まれないよう行動していかなければならぬと感じました。

#### 読者へのメッセージ

研修医となって振り返ってみると、学生の間に経験してよかったと思っていることがあります。その中で



も一番よかったことは、医師としてではなく学生として患者さんにお会いしたことです。病気と向き合う気持ちを聞けたことや、医師にはなかなか言えないことをそっと打ち明けてくださったこともあります。研修医になった今も、知識や技術はまだまだ足りていませんが、なるべく患者さんのベッドサイドを訪ねてお話しを傾聴するように心がけています。

余談ですが、今、学生時代にお会いした患者さんを研修医として担当させていただいている。なんと患者さんも学生時代の私のことを覚えてくださっていて、未熟な研修医の私に様々なことを教えてくださいます。患者さんから学ぶ毎日です。



医学生として人間のからだの仕組みや疾患について学んでいらっしゃると思うのですが、ぜひ患者さんから学ぶ機会を設けてみてはどうでしょうか。



# The future is borne. 研修医3人組の ほやほや奮闘記



#### 医学生ミーティングとは？

大学や学年を超えた仲間とともに学べる場所。今、私は医学生ミーティングで出会った同期と先輩医師に囲まれて研修医生活を送っています。学生時代と同じ時間を共有し、ともに学んだ仲間の存在は、計り知れないほど大きいです。(もちろん、他の同期や先輩医師の存在もかけがえないです。) 中村まなび

## 大谷紗代

西淀病院初期研修1年目

印象に残っている回…'08年度8月夏合宿「平和～毒ガスから考える in 大久野島&広島」

瀬戸内海にある大久野島へ私が訪れたのはこの合宿が初めてでした。現在は国民休暇村として営業されているのどかな孤島です。

ところが、この島は昔地図には描かれない隠された島でした。戦争に使う毒ガス爆弾を製造するための場所として利用し、敵から狙われないように地図から存在を消されたのでした。毒ガスを製造されていた頃の資料は今も資料館として島に残されています。そこで、当時の様子を知り、案内の方のお話を聞き、まだ当時の雰囲気の残る工場やガス爆弾置き場跡地を巡りました。そしてこれは過去の話ではないことも知りました。数年前、終戦後廃棄されずに埋められた爆弾が島近くの海底から発見されたのでした。それらは全て生々しく私の胸に刻み込まれました。暗い歴史を知れば知るほど、広い空と美しい瀬戸内海に囲まれ、可愛いウサギたちがたくさんいて、観光地として成り立っている今の大久野島の様子にとても違和感を感じました。ウサギも元々生息していたのではなく、観光の目玉として導入されたと聞きました。今でも不発の爆弾がある可能性がある場所で楽しく休暇を過ごす大勢のお客さん…国の都合で地図から消されたり、観光地として



## 関口恵史

西淀病院初期研修1年目

#### 医師不足・病院閉鎖の問題

私が大阪民医連の奨学生になったのは医学部2年生のころでした。奨学生になるご縁について少し述べますと、大学は福岡県久留米大学ですが医学部入学前は大阪府茨木市彩都で研究職として働いていたこともあり、もう一度大阪で働いてみたいということで大阪民医連の奨学生に申請しました。当時は民医連ということもよく知らなかつたし奨学生となることで何か縛りができるかと不安もありましたが、大阪民医連の担当者が快く迎え入れてくださったのでとてもオープンなところなんだなと好印象をもったのがきっかけです。

私が奨学生会議（現在の医学生ミーティング）の勉強会で印象的だったのは医師不足の問題でした。今回の勉強会では実際に閉鎖になった病院関係者と弁護士さんのお話をじかに聞くことができる企画で、いわば当事者の



声の声を聴かせてもらえる貴重な機会でした。ニュースや大学の講義の中でも医師不足という問題は聞かされてきていると思いますが、生の声を聴く機会は大学の講義などでは得られないと思います。奨学生会議ならではの企画であり、こういう場でな

宣伝されたり…学習をしなければ知ることはありますでした。今の大久野島の在り方が正しいのか間違っているのかは一概に決められないかもしれません、私はこの合宿で“学習の大切さ”を実感しました。情報化社会の現代の中で何が正しいかは判断が難しいですが、なぜ？と思うことや、関心をもつことは大切なことだと思います。それは患者さんを診るときにも通じます。見ようと思わなければ、見えてくるものも見えきません。こんなこと言いながら、私もまだ出来ていないことなので、自分の肝にも銘じるために書いています(笑)

#### 読者へのメッセージ

大学の勉強のこと以外で何かを学ぶってことは、部活やバイト等で忙しい学生の皆さんには大変労力のことだと思います。私も自ら何かを学ぼうとするのは苦手でした。

ただこうして大阪民医連の合宿や学習会に参加することによって、最初は受け身だった自分も終わるころには何だか色々考えようになっていました。良いキッカケを与えて頂ける場だと私は思っています。これを読んでいる皆さんも学ぶ機会が側にあるようなら、最初は『興味ないな』とか『面倒くさそう…』とか思ってしまうかもしれません、あまり難しく考えずに何となくフラッと参加してみてはどうでしょうか？知り合いも増えるし、なかなか良いかもしれませんよ♪

ればなかなか経験できないことだと思います。医療者にとって社会の情勢を勉強することはとても大切なことだと思いますので、こういった機会を利用して深く社会勉強できることは有意義なことだと思います。勉強会の中では、残念ながら病院の復活は望めない状況でした。自治体が経営する病院が経営的に苦しい状況に立たされている現状を目の当たりにしました。医師の数が確保できれば解決できることもあり、また医師の数が不足することで常勤医の負担も大きくなり、次々と辞めていく現状、すなわち悪循環のような現状に現在の医療制度の抱える問題点も見えてきたような気がしました。

今回の企画は民医連が、患者さんのためのよりよい医療を実現していくという理念をもっているからこそこの企画だと思います。同じように民医連以外のところでも現在の医療制度に疑問をもっている人も大勢いると思います。学生生活を卒業して研修医になったら忙しくなります。こういった問題をじっくり考える時間も少なくなると思いますので、こういった機会に社会勉強として医療にかかる社会問題をじっくり深く勉強しておるものいかがでしょうか？卒後の長い医師としての活動にきっと大きく役立つと思います。



第33回  
民医連の医療と  
研修を考える  
医学生のつどい

略称：つどい

医学生のつどいとは、全国の医学生が集まって医療や社会のことを学び、自分の将来の医師像について仲間と交流して深める企画です。

本番は毎年8月に2泊3日で開催され、今年で33回目を迎えます。医学生の他に、医師、コメディカル、共同組織の方が参加して、様々な視点からテーマについて考えます。例年、医学生を含め、400人を超える規模で開催しています。

つどいはおまかに、つどい実行委員会や各地域での学びや活動、そして本番から成り立っており、本番の3日間だけではない、年間を通しての取り組みです。夏の本番までに実行委員会が5回行われます。この実行委員会ではつどい本番のテーマや目標、内容について医学生や医師、担当者で議論し、学習することで本番を作りていきます。ただ、準備作業をする場ではなく、様々な経験を通して自分の考えを深め、そしてその中でたくさんの仲間を作ることができる場もあります。



募集 あつまれ 医学生!

# 原発問題から

～医学生が本気だ

# 医療と生活を考える

して考えたらどうなる!?～



実行委員会だけでつどいを作っていくわけではありません。実行委員会で出た疑問や興味を自分の地域に持ち帰り、そこでの仲間と一緒にさらに学び、活動することで得た知識や経験も、つどいを作るうえで活かされます。実行委員会と地域での活動、そのサイクルによってさらに幅の広い学習や議論ができました。これまで積み重ねてきたそれらの議論や学びの集大成がつどい本番です。

今回のテーマは「原発問題から医療と生活を考える～医学生が本気だして考えたらどうなる!?」です。昨年私たちは東日本大震災という未曾有の大災害を目の当たりにしました。甚大な被害を受けた震災に加え、福島第一原発事故が発生し、多くの人の健康と人権が脅かされています。将来、医師になる私たちはいのちの専門家としてこの原発問題をどうとらえればよいのでしょうか。人体に影響を及ぼす放射能、その放射能を出すこととなった原発の在り方について。またこの問題と医療との関連性について。私たちにとっても避けられない問題をどう考えたらいいのでしょうか。

つどいの実行委員会では、この問題に対して学習を重ねてきました。また学習するだけではなく、フィールドワーク（体験学習）として実際に都内の放射線量を測定するなどし、医学生がこの問題に対して決して無関係では済まされないということを議論してきました。

全国の医学生と考えを交流したり、現場の職員の意見も参考にして考え、将来自分はどういう医師になるのかについて考えませんか。

医学生なら誰でも参加できます。詳しくは担当者までお問い合わせください。

なお、本番は8月に開催されますが、第4回、第5回の実行委員会もそれまでに開催されます。実行委員会に参加しているのは実行委員の医学生だけではありませんので、お気軽にご参加ください。

## 今後の日程

- 第4回実行委員会  
7月28日(土)～29日(日)  
東京晴海グランドホテル
- 第5回実行委員会  
8月15日(水)～16日(木)  
岩手県花巻温泉 ホテル千秋閣
- 本番  
8月16日(木)～18日(土)  
岩手県花巻温泉 ホテル千秋閣

# 大阪民医連とは？

いつでも、どこでも、誰もが安心して良い医療と福祉を

戦後、医療に恵まれない人びとの要求に応えようと、地域住民と医療従事者が手をたずさえ戦後、医療に恵まれない人々の要求にこたえようと、地域住民と医療従事者が手をたずさえ、民主的な医療機関が各地につくられました。全日本民主医療機関連合会(全日本民医連)は、これらの連合会として1953年に結成されました。

以後、半世紀以上にわたって地域の人々にささえられ、身近な医療機関として活動しています。医療制度を改善する運動もすすめ、「いのちは平等である」との考え方から、差額ベッド料はいただきていません。また、地域の要求から介護・福祉分野の活動も活発に行っています。

現在、民医連に加盟する事業所は、全国の47都道府県に1700カ所を超え、約6万2千人の職員と、医療生活協同組合員や友の会会員あわせて約318万人の方々が、ともに保健・医療・福祉の総合的な活動、安心して住み続けられるまちづくり運動を進めています。大阪民医連は1953年の創立し、現在140カ所以上の事業所が加盟しています。病める人びとや地域住民の方々と手をたずさえて歩みを続けてきました。



第32回 民医連の医療と研修を考える  
「医学生のつどい～震災と復興～」より

## 民医連綱領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめ、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、国民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

- 一、人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめ、人びとのいのちと健康を守ります
- 一、地域・職域の人びとと共に、医療機関・福祉施設などとの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます
- 一、学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一、科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療・介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
- 一、国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
- 一、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日

全日本民主医療機関連合会 第39回定期総会

## 民医連では

### いろいろな取り組みをしています！

医学生さんはもちろん、高校生や予備校生などの医学部を目指す受験生さんに対しても様々なサポートをしています。

中でも春・夏・冬の大型のお休みに合わせて開催している「1日医師体験」はドクターについて往診や病棟回診に行って患者さんとお話をしたり、検査科ではどんな検査をしているのか見学したり、普段はなかなか体験出来ない企画が好評です。

実際の医療機関でドクターがどの様に働いているのか、単に症状だけでなく患者さん1人1人の状況を読み解いて、丁寧に真摯に「人」と向き合う姿は受験生たちの「こんなお医者さんになりたい！」という気持ちを後押しします。

**なにわの医療道場をお読みの受験生のみなさん!!**  
**この夏休み、「1日医師体験」に参加してみませんか?**  
**お医者さんという夢に向かって、明確なイメージを掴みましょう!**

詳しくは大阪民医連ホームページ  
<http://www.oskmin-igakusei.com>

## 民医連 Data

| 病院数     | 診療所数    | 訪問看護ステーション数 | 介護老人保健施設数 | 職員数        | 1日平均入院患者数  | 許可病床数      | 1日平均外来患者数  |
|---------|---------|-------------|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 民医連 154 | 民医連 524 | 民医連 377     | 民医連 40    | 民医連 62,287 | 民医連 24,915 | 民医連 26,931 | 民医連 86,942 |
| 日赤 92   | 日赤 2    | 日赤 50       | 日赤 6      | 日赤 54,840  | 日赤 32,815  | 日赤 39,308  | 日赤 80,688  |
| 厚生連 122 | 厚生連 58  | 厚生連 110     | 厚生連 24    | 厚生連 45,284 | 厚生連 32,568 | 厚生連 37,609 | 厚生連 83,482 |
| 済生会 79  | 済生会 10  | 済生会 44      | 済生会 25    | 済生会 39,900 | 済生会 19,440 | 済生会 22,563 | 済生会 42,156 |

民医連：各事業所数は2006年3月、病床・患者数は2006年3月、職員数は2005年10月現在。 日赤：各事業所数は2006年3月、病床・患者数は2006年3月、職員数は2005年4月現在。

厚生連・済生会：2006年3月現在。

※診療所数は歯科診療所を含まない。